

Investor's Report

2026年3月期 [2025年4月1日 ~ 2026年3月31日]



この星のくらしは
どうしてこんなに
スムーズなんだろう？

地球はとっても不思議な星だ。
ここではたくさんの方が
乗り物に乗って移動したり、
いらぬものをたくさん捨てたり、
宇宙にまで飛び出してみたり、
思いのままに生活をしている。

それなのに、毎日の暮らしは
とどこおりなく、回り続けている！
彼らの暮らしはとにかく「スムーズ」なのだ。

どうやら、どこかで誰かが
この星の「スムーズ」を
日々つくり出しているらしい…。

あしたをもっと、スムーズに。

©柴田ケイコ

表紙のことば

今回表紙を飾るのは、新明和グループ企業PRアンバサダー「メイメイちゃん」です。メイメイちゃんは、「パンどろぼう」シリーズ等で人気の絵本作家 柴田ケイコさんに描いていただいた、「好奇心旺盛・探求心が強く・明るくて優しい性格」の宇宙人です。

わたしたちが生み出す製品・サービスが社会に提供している価値を、メイメイちゃんが交通広告やYouTubeで紹介しています。ぜひご覧ください。

▼こちらから



Contents

| | |
|------------------------|---|
| トップメッセージ | 1 |
| 連結業績ダイジェスト/ セグメント情報 | 3 |
| 事業解説 航空機事業 | 5 |
| 企業情報・株式に関する情報 | 7 |

トップメッセージ

「社是」と「経営理念」を鑑として、 グループ経営をけん引してまいります

代表取締役 取締役社長 **榎原 敬士**



2026年4月1日付で社長に就任した榎原です。株主の皆様には、数ある銘柄の中から当社をご選択いただき誠にありがとうございます。

私は、当社入社後長らく流体事業に携わり、2012年から10年間、流体事業部長を務めました。その後、2022年に本社に移り、新たな柱となる新事業創出に取り組んでまいりました。

このたび、当社社長の任に就き、100年を超える歴史を振り返るとともに、経営の持続と成長を担う責任の重さを実感しております。現在に至る道を拓いてくださったお客様、株主の皆様、そして先輩方への感謝の気持ちを忘れず、担った使命を果たしてまいります。

1. 2026年3月期の業績を振り返って

中期経営計画[SG-2026]の中間年度にあたる、2026年3月期の業績を振り返りますと、受注高、売上高は、いずれも過去最高値で着地しました。また、営業利益、配当の原資となる親会社株主に帰属する当期純利益も同じく過去最高を達成しました。

セグメント別では、近年急成長を遂げたEV(電気自動車)用リチウムイオン電池向け設備投資の低迷が続き、同市場向け製品を扱う産機・環境システムセグメントは苦戦しておりますが、主力の特装車をはじめ他のセグメントの増収・増益が、これを補いました。

また、長らくPBR(株価純資産倍率)1倍以下が続いていた株価は、日本国内の株式相場や、安全保障の環境変化に関する銘柄として認知されたことなどをきっかけに上昇し、足元はPBR1倍超えを維持しております。市場で広く認知されている製品を複数有している強みを糧に、事業部間シナジーをさらに発揮して、将来にわたって企業価値の向上に努めてまいります。

2. 2027年3月期は“節目の年”

2027年3月期は、3カ年の中期経営計画[SG-2026]の最終年度にあたり、5月に開示した今期予想値の達成を目指して諸施策を実践しております。

[SG-2026]連結業績・指標の推移

| | 2025年3月期 (実績) | 2026年3月期 (実績) | 2027年3月期 (当初目標) | 2027年3月期 (今期予想) |
|---------|------------------|------------------|--------------------|-----------------------|
| 売上高 | 2,664億円 | 2,850億円 | 3,200億円 | 3,124億円 ^{*1} |
| (海外売上高) | 451億円 | 466億円 | 800億円 | 670億円 ^{*1} |
| 営業利益 | 139億円 | 163億円 | 180億円 | 170億円 ^{*1} |
| ROE | 8.2% | 9.7% | 10%以上 | — |
| ROIC | 6.0% | 6.7% | 7%以上 | — |

^{*1} 中東情勢による影響が4月末に収束する想定で試算

売上高の源泉となる受注高は順調に増えておりますが、受注残高も高水準となっており、人手不足の中、これらを着実に収益化するには、抜本的な生産効率向上策を講じる必要があります。

また、中東情勢の緊張が長引く状況下、人件費や材料費の高騰、生産活動への影響等を念頭に収益計画を立てておりますが、今後起こり得るリスクを想定しつつ、適宜必要な対策を実施してまいります。

一方、ROE(自己資本利益率)は目標値に近づきつつあるものの、ROIC(投下資本利益率)の向上には苦戦しております。売上増やコスト削減、製品・サービスの高付加価値化に努めておりますが、人手不足・生産効率向上のための設備投資は必要不可欠であり、優先順位を付けて、計画的に実行しております。

3. マテリアリティ(重要課題)への取り組み

新明和グループは、事業活動を通じた社会的価値の創出と、企業としての持続的成長の両立を目指しております。2026年3月期からは、以下のマテリアリティを経営活動に織り込んで推進しております。

新明和グループが取り組むマテリアリティ(重要課題)

- ①「事業を通じて取り組む重要課題」
地球温暖化防止、循環型社会への貢献、都市・輸送・環境インフラの高度化
- ②「経営基盤として強化すべき重要課題」
多様性に考慮した人材の育成・活用、労働衛生、風土の構築、人権の尊重、コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化

この中から、「都市・輸送・環境インフラの高度化」「リスクマネジメントの強化」「コンプライアンスの徹底」「風土の構築」について説明いたします。

(1) 都市・輸送・環境インフラの高度化



本マテリアリティでは、①環境負荷軽減への対応、②自然災害の多発化および激甚化への対応、③省人化および効率化の推進を重要テーマに掲げて取り組んでおります。

① 環境負荷軽減への対応(省エネ、低炭素製品・サービスの提供)


| セグメント | 対応内容 |
|-----------|---|
| パーキングシステム | CASE・DX・ZEB ^{**2} など、ニーズの多様化により拡大する事業機会拡大の積極活用 |
| 航空機 | リサイクル複合材料を活用した製品開発 |

^{**2} 「省エネ」と「創エネ」の組み合わせによって、建築物全体のエネルギー収支をゼロにする取り組み

② 自然災害の多発化および激甚化への対応(防災、減災に貢献する製品・サービスの提供)

| | | |
|-----|--|---|
| 流体 | 豪雨・浸水対策といった社会課題対応策として、大型水中ポンプ(大流量・高揚程)を開発・発売 |  |
| 航空機 | US-2型救難飛行艇の生産基盤維持 |  |

③ 省人化および効率化の推進(高齢化、労働人口減少に対応した製品・サービスの提供)

| | | |
|-----------|---|---|
| 特装车 | バス・鉄道用ワンマンシステム機器を手掛けるレシップ(株)と共同で、塵芥車のドライバーが安全・確実に走行でき、かつ、収集作業のノウハウ継承も支援する廃棄物収集業務効率化システム「G-SUPPORT」を開発・発売 | |
| | グループ会社 イワフジ工業(株)において、デジタルツイン技術(現実世界で集めたデータを基に、仮想空間に現実世界と同じ世界をリアルタイムで再現する技術)を活用し、架線式グラブプル周辺の立体映像を見ながら荷掛けを行うなど、一人制作業を可能とする取り組みを推進 | |
| パーキングシステム | 航空旅客搭乗橋の自動装着システム、バリアフリータイプを開発・発売 |  |
| 産機・環境システム | デジタルツールや遠隔監視機能の応用による業務効率の最大化 | |

(2) リスクマネジメントの強化

当社グループでは、企業価値の維持・向上を図る指針として、「内部統制システム構築の基本方針」を掲げております。これに基づき、リスクマネジメントに関する規則を定め、企業活動にまつわる多様なリスクを管理し、万一リスクが発生した場合は損害・損失を最小限に留めるよう努めております。

また、昨今各所で取り沙汰されている「情報セキュリティー」については、アカウント管理を行うとともにウイルスや不正アクセスを防止する対策の実施、これらに関する社内教育を行っております。

(3) コンプライアンスの徹底

新明和グループでは、自社で定める「行動指針」「行動規範」に則り、法令を守り、高い倫理観と責任感を持って行動するよう従業員一人ひとりに求めています。その実践をサポートする教育資料「コンプライアンスハンドブック 私たちの約束」を作成し、グループ会社を含めて配布・配信しております。

こうした取り組みを実践する最中、二つのセグメントにおいて、独占禁止法に違反する事案が発覚したことは誠に残念であり、ステークホルダーの皆様にご心配をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

二つの事案が生じた背景を検証し、専門家を招いてコンプライアンスに関する研修を行うなど再発防止策を着実に実行するとともに、従業員には、「行動指針」「行動規範」の徹底を促す教育を繰り返し行い、ブランドに恥じない言動を求めてまいります。



(4) 風土の構築

「長期ビジョン(当社グループが目指す2030年の姿)」を具体化するには、現在の経営スタイルを主体的に変えていく必要があります。5つの基盤事業を有する当社グループにおいて、これらと同等の新たな芽を短期に育むのは容易なことではありませんが、社で謳う「進取」の精神を胸に、臆することなく変化を受け入れ、新たなことに挑戦する気概を育む環境づくりに注力しております。

また、DE&I(ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公正性)、インクルージョン(包摂))の推進、従業員エンゲージメント(自社に対する愛着心)の向上、挑戦意欲向上による自己成長などを合言葉に、福利厚生制度の活用促進や女性の雇用・登用機会の拡大、これらを通じた社内風土改革に取り組むとともに、従業員の反応や変化を「エンゲージメントサーベイ(社員と組織とのつながりの強さを定量的に測定するツール)」で定点測定しております。コンプライアンスと同様に、日々の活動を継続することで、従業員が「こうありたい」とイメージする風土が構築されていく姿を思い描いております。

マテリアリティに関する詳細は、ウェブサイトに掲載している「統合報告書」をご参照ください。

4. 「社是」「経営理念」を重んじた経営に徹する

グループをけん引する立場となった今、変化の激しい今の時代、そして多様な事業を営む企業特性から、経営の軸となる考えを持つことの大切さを日々実感しております。私の考えや判断の軸は「社是」、そして「経営理念」にあります。

| | |
|----------------------|--|
| 社 是 (1964年制定) | |
| 「清潔」 | 自らの心身を清く正しく保つこと、そして公私を問わず「不潔」という悪に立ち向かう勇気を尊ぶ、という精神 |
| 「誠心」 | 「誠の心」なくして決して人を動かすことはできない。心の底から誠意をもって接することが全ての人間関係の基調となる、という精神 |
| 「堅実」 | うわべを取り繕った行動や一獲千金を期待することを良しとせず、一步一步足下を踏み固めながら着実に前進し、その結果成し得た成功を重んじる、という精神 |
| 「進取」 | 過去からの慣習にとらわれることなく、新しい物事に積極的に挑戦する聡明さと勇気、そして目的達成のためにまい進する気迫を常に持ち合わせる、という精神 |

| | |
|---|--|
| 経営理念 (2020年制定) | |
| 新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、安心な社会と快適な暮らしを支え続け、人々の幸せに貢献します。 | |

「社是」の四つの言葉には、それぞれ深い意図が込められています。また、経営理念は新明和グループの存在理由、目的、使命を表したものです。企業、そして人としてこれらを体現していく仕組みを構築することが、私の役割の一つであると認識しております。

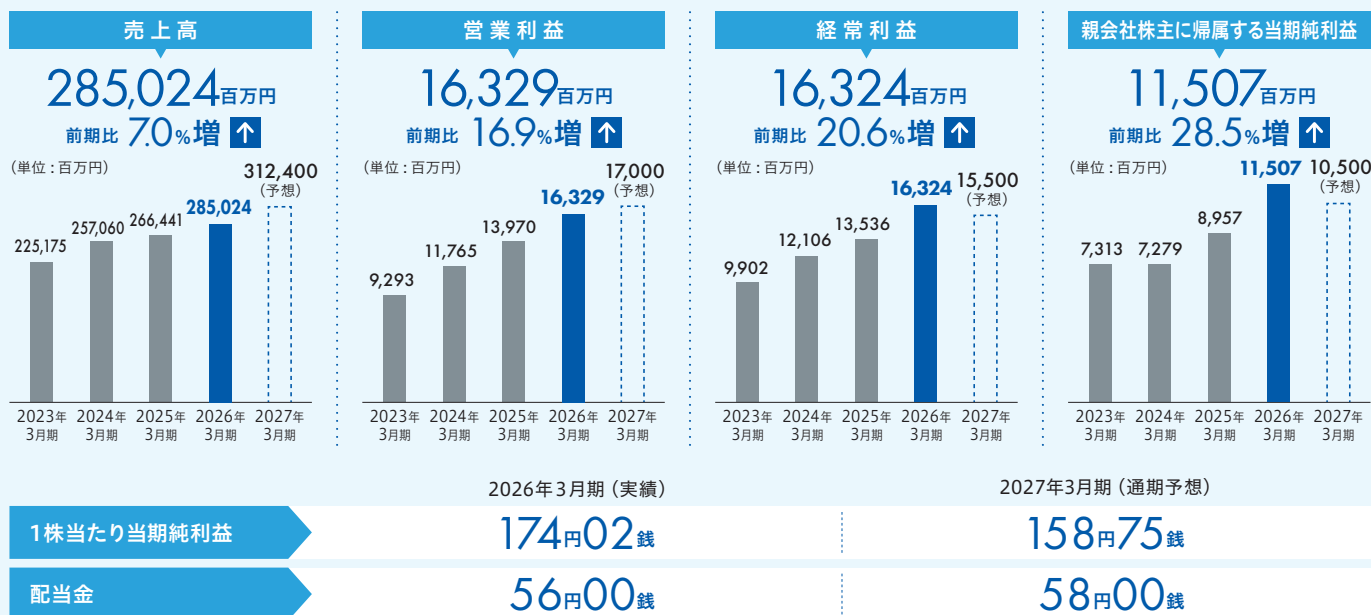
株主の皆様におかれましては、当社の現在、そして将来に関心をお持ちいただき、引き続きご支援賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト

POINT

売上高 「産機・環境システム」「その他」を除く全てのセグメントで増収となり、全体では増収。
3年連続で過去最高を更新。

利益 増収による増益。
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、いずれも過去最高を達成。



セグメント情報

主要5事業の製品/サービス内容の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。詳しくはこちらからご確認ください。



特装车

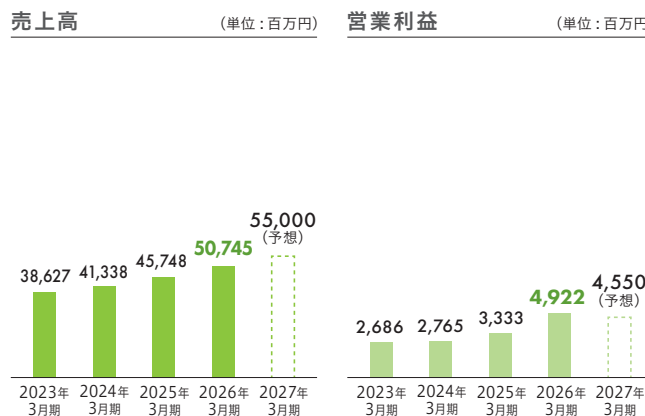
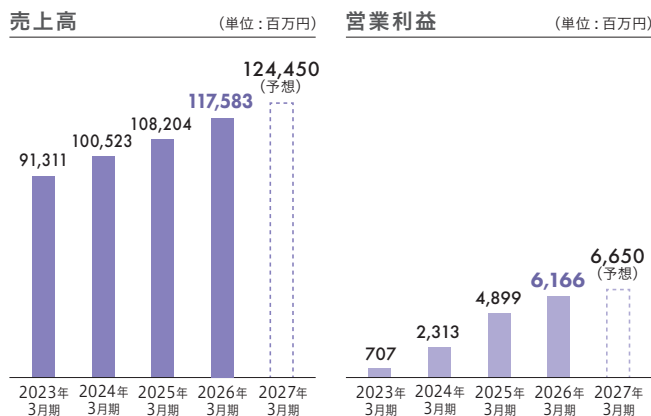
ニーズに合わせた「働く車」を製造・販売。作業性と安全性を共に満たす品質を追求しています。

主要製品/サービス 建設関連車両: リヤダンプトラック、ミキサ車
物流関連車両: テールゲートリフタ、トレーラ、タンクローリ
環境関連車両: 塵芥車(ごみ収集車)、脱着ポデー車
高性能林業機械

パーキングシステム

快適なモビリティ社会の実現をサポート。都市インフラを支えるソリューションを提供しています。

主要製品/サービス エレベータ方式駐車設備
二・多段方式駐車設備
コインパーキング
航空旅客搭乗橋



- 2026年3月期 実績**
- 物流関連車両(トレーラ含む)、環境関連車両、防衛事業の売上が増加。
 - 増収による増益。
- 2027年3月期 見通し**
- 生産台数増加や売価改定効果の着実な刈り取りにより、増収増益となる見通し。

- 2026年3月期 実績**
- 機械式駐車設備は製品、サービス事業の売上が増加。航空旅客搭乗橋は海外向けで売上が増加。
 - 増収による増益。
- 2027年3月期 見通し**
- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、共に増収を見込むものの、運営費の増加に伴い減益となる見通し。

産機・環境システム

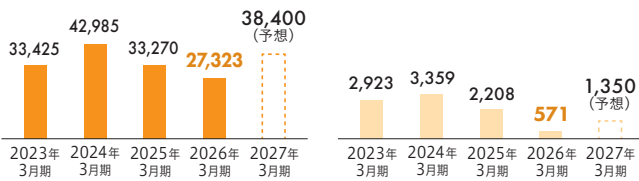
社会インフラを支える技術力、エンジニアリング力が強み。
EV化や循環型社会の促進に貢献。

主要製品/
サービス

自動電線処理機
真空乾燥装置
ダイレクトドライブモータ
ごみ中継施設



売上高 (単位: 百万円) 営業利益 (単位: 百万円)



2026年3月期実績

- メカトロクス製品は真空製品の売上が減少。環境関連事業もプラント案件の売上が減少。
- 減収による減益。

2027年3月期見通し

- メカトロクス製品、真空製品、共に増収を見込み、増益となる見通し。

流体

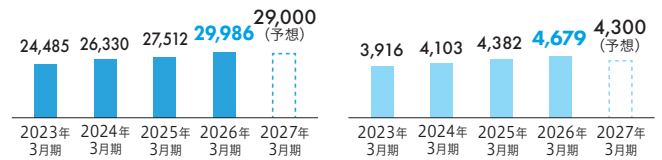
水インフラへの貢献を通じて生活環境を守る。
水環境の維持、水害対策に寄与する製品群が強み。

主要製品/
サービス

高効率・高通過性水中ポンプ
水中ミキサ
立軸槽外型ポンプ(雨水排水分野向け)
空気軸受式可変単段ターボブロワ



売上高 (単位: 百万円) 営業利益 (単位: 百万円)



2026年3月期実績

- 国内、海外共に売上が増加。
- 増収による増益。

2027年3月期見通し

- 需要は底堅く推移するものの、好調に推移した前期に比べて減収減益となる見通し。

航空機

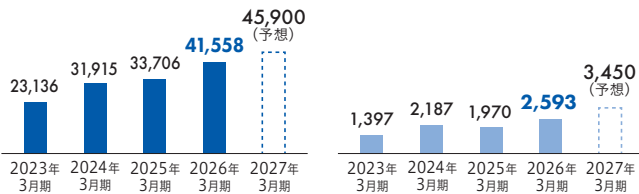
祖業の航空機技術を礎に、海と空で活躍。
固有技術と経験を糧に航空機の可能性を探求。

主要製品/
サービス

US-2型救難飛行艇
ボーイング社大型航空機「777」向け翼胴フェアリング
ボーイング社中型航空機「787」向け主翼スパー
固定翼型無人航空機 ※開発段階



売上高 (単位: 百万円) 営業利益 (単位: 百万円)



2026年3月期実績

- 防衛省向け、民需関連共に売上が増加。
- 増収による増益。

2027年3月期見通し

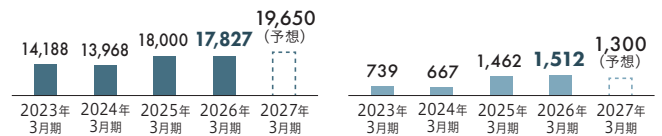
- 民需関連の増収などにより増益となる見通し。

その他

建設事業、不動産・人材派遣業、ITインフラ構築等、
グループ経営をサポートする横串機能。



売上高 (単位: 百万円) 営業利益 (単位: 百万円)



2026年3月期実績

- 売上は前期並みの水準。
- 営業利益も前期並みの水準。

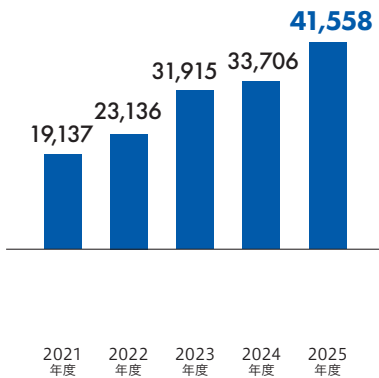
2027年3月期見通し

- 建設事業の増収を見込むものの、運営費の増加などに伴い減益となる見通し。

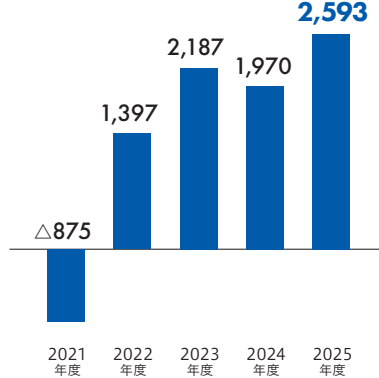
事業解説

航空機事業

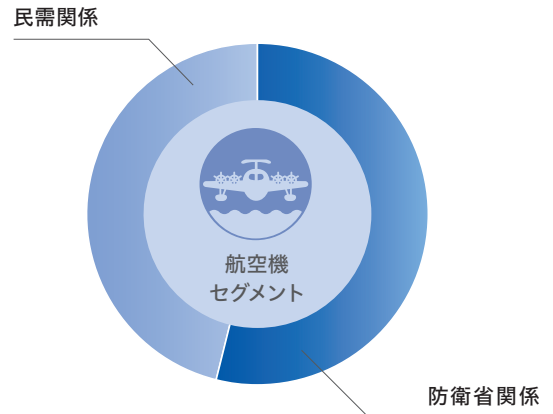
売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



売上高構成比 (2025年度実績)



1. 祖業を受け継ぐ航空機事業

当社の歴史は、1920年、前身会社 川西機械製作所に設置された飛行機部に始まります。この年に「川西一型機(木製の複葉機)」を製造した、という記録が残っています。その後、二式飛行艇、紫電改をはじめとする数々の名機を生み出しました。



当社の歴史の第一歩となった「川西一型機」

終戦後、状況は一変しました。国内では航空機の製造が禁止され、このことが、特装車、産業機械といった新たな事業を育むきっかけとなりました。

1952年に航空機製造が再開されて以降、当社では、かつての技術を対潜哨戒機(PS-1)、水陸両用の救難飛行艇(US-1、US-1A、US-2)へと継承しつつ、海上自衛隊の後方支援活動を支えてきました。

US-2型救難飛行艇

- ・飛行機と船の両方の特徴を持ち、陸上と海面、いずれにも離着陸(水)可能。
- ・世界で唯一、波高3メートル(機体高の3分の1に相当)の荒海にも着水できる。
- ・優れたSTOL(短距離離着陸(水))性能を有し、長い滑走路は不要。
- ・防衛省海上自衛隊が、主に海難事故発生時の救助活動時に運用。US-1から起算すると、のべ1000回を超える出動回数を誇る。
- ・US-2の製造には、約1500社の協力会社が携わる。機体の長寿命化等に伴い、近年調達ペースが4~5年に1機と長期化しており、協力会社との関係維持が課題に。
- ・2025年度、通算10機目となる「US-2」の受注契約を防衛省と締結。製造期間が長期にわたるため、同機の売上は工事進行基準[※]で計上。

[※]長期契約において、工事(作業)の進捗度に応じて収益と費用を認識する会計基準

戦後、当社が開発・製造した飛行艇の変遷



PS-1(写真下)、US-1

US-1A

US-2

1980年代に入ると、新たに海外民間航空機の部品開発・製造に参画。品質はもとより、月単位で複数機を製造する「量産体制構築」という新たな課題を克服し、今ではボーイング社「777」「787」各機に欠かすことのできないサプライヤーとなりました。

ボーイング社 大型航空機「777」向け 翼胴フェアリング

- ・1993年、「777」初号機向け翼胴フェアリング(翼胴接合部覆い)を出荷。累計部品納入数は約1800。
- ・「翼胴フェアリング」とは、主翼と胴体の結合部を覆うカバーのこと。
- ・炭素繊維とガラス繊維で構成される「複合材料」を加工・成形して生産。
- ・現在開発中の「777X」では、「777」と同じ部位を担当。「777X」では、ボーイング社に一次サプライヤーとして認定される。



ボーイング社 中型航空機「787」向け 主翼スパー

- ・2006年、「787」初号機向け主翼スパー[※]を出荷。累計部品納入数は約1400。
- ・主に炭素繊維とエポキシ樹脂を組み合わせた「複合材料」を加工して生産。
- ・これまでに月産14機分の主翼スパーを生産した実績あり(営業日に換算すると、1日あたり0.7機に相当)。



[※]主翼内部を通る重要な構造材(桁)。翼の「背骨」にあたり、飛行中の大きな荷重を受け止める役割を担う。

航空機事業部は、兵庫県下の神戸市、宝塚市、小野市、徳島県の4拠点で生産活動を行っています。

2. 航空機セグメントを構成するグループ会社

以下の3社と連携して運営しています。

| 法人名 | 主な事業内容 |
|------------------------------|----------------------------|
| 新明和岩国航空整備株式会社 | 飛行艇をはじめとする航空機の修理・改造・整備 |
| ウイングフィールド株式会社 | 航空機部品の製造および組立、航空機シートの製造・販売 |
| ShinMaywa (California), Ltd. | 航空機関連製品向け資材調達 |

3. 歴史を変える「変化」と「成長」に期待

－ 研究開発/新規事業 －

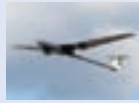
航空機事業では、長年防衛省、海外民間航空機メーカーの機体製造に携わってきましたが、近年は、固定翼型無人航空機など、社会情勢から社会課題をとらえた機体開発にも注力しています。

具体的には、2019年に実験用途として開発した固定翼型無人航空機の飛行試験を新潟県で行ったことを皮切りに、以下の取り組みを推し進めております。

■ 自主研究

固定翼型無人飛行機「XU-S (Experimental Unmanned / Utility aircraft by ShinMaywa)」の開発

| | |
|----------------|--|
| サイズ | 全長2.5m、全幅6.0m、全高0.4m |
| 自重 (電池重量含む) | 10kg～17kg (運用目的によって変動) |
| 主な材料 | 炭素繊維強化プラスチック (CFRP) |
| 操縦系統 | 無線操縦系統、自律操縦系統 |
| 推進系統 | 電動・プロペラ・双発 |
| 特徴 | ・飛行中に排気ガスを直接排出しないLiPo(リチウムイオンポリマー)電池が動力源。 ・「長時間滞空能力」に長けており、観測・監視・通信などの幅広い分野での応用が可能。 ・2020年に新潟県で行った飛行試験では、3時間42分の長時間滞空、135kmの飛行に成功。 |



■ 自主研究

無人飛行艇「XU-M (EXperimental Unmanned / Utility aircraft - Marine type)」の開発

| | |
|------|--|
| サイズ | 全長3m、全幅4m、全高0.9m |
| 運用重量 | 25kg未満 |
| 巡航速度 | 17m/s |
| 推進系統 | 双発電動モーター・プロペラ |
| 特徴 | ・飛行艇のセンシング、コントロールに関わる研究の推進、遠隔運用実績や海洋に関する各種データの蓄積を目的に開発を進める。 ・水上での離発着を可能とする飛行艇の利点を活かし、広大な海域における資源・エネルギー・安全保障・人口減少といった諸課題の解決・軽減の一助となる機体開発を志向。 |



■ 公募研究

- ① 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 公募「経済安全保障重要技術育成プログラム/無人機技術を用いた効率的かつ機動的な自律型無人探査機 (AUV) による海洋観測・調査システムの構築」における研究開発に参画。
- ② 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 公募「経済安全保障重要技術育成プログラム」における「HAPS※1によるリモートセンシングを用いたMDAシステムと運航管理技術の開発・実証」プロジェクトに採択。

- ・2024年度から2028年度までの間、内閣府主導で創設された「経済安全保障重要技術育成プログラム (K Program)」に参画。
- ・①における研究開発課題は「海空無人機による海洋観測・監視・調査システムの構築」。本研究において、自律型無人探査機を調査海域まで運搬・投入・揚収する輸送システムの一環として、無人飛行艇の開発を担う。2025年に実証機サイズを約1/5にスケールダウンした「XU-MII※2」を開発し、同年10月には同機を遠隔操作で離着水させ

るなど基本性能の確認を行い、初飛行を成功させた。

- ・②における研究開発課題は「HAPSによるリモートセンシングを用いたMDAシステムと運航管理技術の開発・実証」。本研究において当社は、成層圏における実証環境構築のためのHAPSの設計、製造を担う。現在、高高度で長時間の滞空が可能な無人航空機「XU-S II」の設計を行っている。

※1 HAPS: High Altitude Platform Station (高高度プラットフォーム)

※2 XU-M II: JST委託業務「無人機技術を用いた効率的かつ機動的な自律型無人探査機 (AUV) による海洋観測・調査システムの構築」の成果

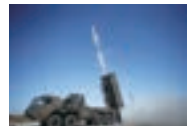


■ 防衛関連新規事業

飛昇体関連製品への開発参画、量産対応

【飛昇体関連製品】

防衛省の飛昇体開発において、2025年度に大手顧客からコンポーネントを受注し設計/試作作業を開始。今後の量産体制確立に向けた取り組みを推進中。



写真出典: 陸上自衛隊

いずれも研究・開発段階にありますが、社是で謳う「進取」の精神の下、祖業から受け継ぐ機体製造技術を、未来社会で役立つ姿に昇華させるべく、各々の成就・生産体制確立を目指して取り組んでおります。

4. セグメント長メッセージ

航空機セグメントは、防衛省関係では飛行艇事業をはじめ他社機種種のコンポーネント製造など、民間関係ではボーイング社製品を主力として、エアバス社やボンバルディア社の製品など幅広く手掛けております。

防衛予算、民間機市場の拡大を背景に事業は年々拡大傾向にあり、航空機セグメントは収益力強化を最も重要な経営課題と位置付けております。技術力・品質といった当社の強みを確かな収益へと転換するため、製品価値に見合った売価改善の推進と、コスト競争力を高める生産性向上を両軸とした収益基盤の強化を図ります。

加えて、将来の事業基盤を強化するため、研究開発の推進や新規事業領域への取り組みにも注力し、中長期的な価値創出につながる活動を継続してまいります。

また、これらの取り組みを支える基盤となる製品納期の確実な遵守と責任ある業務遂行を徹底し、お客様からの信頼を一層強固なものにしてまいります。

2026年度も、企業価値向上に向け着実に取り組んでまいります。



常務執行役員
航空機事業部長
望田 秀之

企業情報・株式に関する情報

会社概要 (2026年3月31日現在)

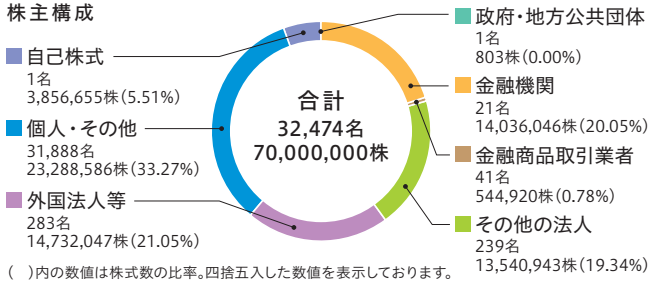
商号 新明和工業株式会社
設立年月日 1949年11月5日
資本金 15,981,967,991円
従業員数※ 3,669名
連結従業員数※ 7,307名

※2025年度から、厚生労働省が定義する「常用労働者」を給与支給人員として集計しております。

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 70,000,000株
単元株式数 100株
株主数 32,474名

株主構成



大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 7,596,100 | 11.48 |
| 三信株式会社 | 6,749,065 | 10.20 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 4,496,700 | 6.79 |
| 新明和グループ従業員持株会 | 3,240,723 | 4.89 |
| 住友不動産株式会社 | 1,837,800 | 2.77 |
| 東洋ビルメンテナンス株式会社 | 1,391,300 | 2.10 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 | 1,371,067 | 2.07 |
| 新明和グループ取引先持株会 | 1,274,937 | 1.92 |
| BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS | 1,180,000 | 1.78 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 1,027,090 | 1.55 |

(注) 持株比率は、自己株式数(3,856,655株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

役員

役員については当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinmaywa.co.jp/company/outline.html>

詳しくは
こちらから▶



株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日

配当金
・2026年3月期 1株当たり年間配当金:56.00円
(うち、期末配当金:29.00円、年間配当性向 32.2%、DOE 3.1%)
・2027年3月期 1株当たり年間配当金(予想):58.00円
(年間配当性向 36.5%、DOE 3.0%)

定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人/特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

各種手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

株主の皆様への「声」、お待ちしております

前号の「Investor's Report」アンケートにご回答いただいた株主の皆様、誠にありがとうございました。約500名の方から回答が寄せられました。

集計結果の一部をご紹介します。

【保有期間】ご回答者の約半分の方が3年未満、2割の方が5～10年保有されています。

【選択理由】①成長性(31%)、②安定性(28%)、③配当(26%)の順でした。

【Investor's Report評価】

「『連結業績ダイジェスト/セグメント情報』の情報量が適当。参考になる」とのご意見を多くいただいております。また、多様な事業を扱う当社グループをご理解いただくコンテンツ「事業解説」に対する評価も届いております。

皆様からのご意見・感想が、本誌制作の貴重な指針となります。本号に対する感想もお待ちしております。回答してくださった方の中から抽選で、薄謝(QUOカードPay 500円分)をお送りいたします(メールアドレスのご入力が必要となります)。2026年8月31日まで受け付けておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

こちらから、アンケートフォームに
遷移します。



新明和工業株式会社

〒665-8550
兵庫県東塚市新明和町1番1号
TEL 0798-56-5000 (代表)

<https://www.shinmaywa.co.jp/>

